

日本ケベック学会 2022 年度総会議事録

2022 年 10 月 15 日（土）17:45－18:00

対面・オンライン

議長に荒木隆人会員が選出された。

会員総数 113 名（うち休会者 10 名）中、出席 20 名・委任 83 名（返信のなかった欠席者を含む）により、総会は成立した。

【報告事項】

1. 2021 年度活動報告

関幹事長より、昨年 10 月以降の活動として以下が報告された。

- ・ 2021 年 10 月 9 日：2021 年度全国大会および総会をオンラインにて開催
- ・ 2021 年 11 月 20 日：オンラインにて開催された ACEQ 大会に佐々木菜緒会員が参加
- ・ 2021 年 12 月 18 日：第 7 期第 1 回理事会および研究会（オンライン）
- ・ 2022 年 3 月 26 日：第 7 期第 2 回理事会および研究会（オンライン）
- ・ 2022 年 6 月：会員名簿を更新、PDF で会員に配信
- ・ 2022 年 6 月 25 日：第 7 期第 3 回理事会および研究会（オンライン）

2. 各部署報告

各部署より以下の報告があった。

- ① 渉外： スティーブ・コルベイユ委員長より、本年度の「AJEQ-AIEQ 小畑ケベック研究奨励賞」選考結果について、西川葉澄会員の「現代ケベックの移民作家による自伝的作品と間文化主義」に決まったことが報告された。
- ② 学会誌：大石編集委員長より『ケベック研究』第 14 号が完成したことが報告された。本号は、立花英裕先生追悼特集となっている。第 15 号の投稿期限は 2023 年 1 月 15 日となっており、新たな「投稿規程・執筆要項」を確認して、ぜひ投稿いただきたい旨、呼びかけられた。
- ③ 広報：小松広報委員長より、HP・ニュースレター・ブログ・フェイスブック・ツイッターについての報告があった。学会 15 周年記念事業の一環として、2022 年度末までに HP のリニューアルが予定されている。

3. 入退会報告

関幹事長より、2021 年 10 月 10 日から 2022 年 10 月 15 日までの入退会者等について以下の報告があった。

入会 2 名、休会 1 名、復会 1 名、退会 3 名。最新の会員数は 113 名

【審議事項】

1. 2021 年度決算・監査

河野理事に代わり関幹事長より 2021 年度の決算報告、加藤監事より監査報告が行われ、採決の結果承認された（別紙参照）。

2. 「日ケ交流 40 周年記念事業」の残金の移管について

丹羽会長より事情説明の後、次の提案がなされた。

(1) 「日ケ交流 40 周年記念事業委員会」の申し出を受け、当委員会が管理する定額預金を日本ケベック学会に移管する。

(2) 移管された定額預金は会計上、今後「AJEQ 記念事業」と称し、日本ケベック学会の通常会計とは別の特別会計とする。

(3) 本特別会計にある預金は記念事業など特別の事業を行う場合に限って使用することができる。

以上が、採決の結果承認された。

3. 2022～23 年度事業活動計画

関幹事長、および真田副会長より以下の活動計画が提案され、採決の結果承認された。

- ・ 年次大会（2023 年 10 月）
- ・ 学会誌第 15 号発行
- ・ 研究会・講演会の開催・共催
- ・ 韓国ケベック学会との交流
- ・ 国際ケベック学会や国際フランコフォニー学会への参加
- ・ 学会ニュースレターの発行（年 2 回）
- ・ HP・ニュースレター・ブログ・フェイスブック・ツイッター、メーリングリストを通じた会員への情報発信
- ・ AJEQ 設立 15 周年記念事業（学会ホームページの刷新、『ケベックを知るための 55 章（第 2 版）』の出版、*Une histoire du Québec racontée par Jacques Lacoursière, Québec, Septentrion, 2002* の翻訳と出版、「15 周年記念ケベック研究書誌」の編纂、AJEQ 活動記録写真集の作成）

4. 2022 年度予算

河野理事より 2022 年度の予算案が示され、採決の結果承認された（別紙参照）。

5. 第 15 回 AJEQ 全国大会

杉原企画委員長より、2023 年 10 月 7 日（土）に聖心女子大学において「先住民イヌーとアイヌの文学・文化的対話（仮題）」というテーマでの開催が提案され、採決の結果、承認された。

以上